

歯の生えかわり

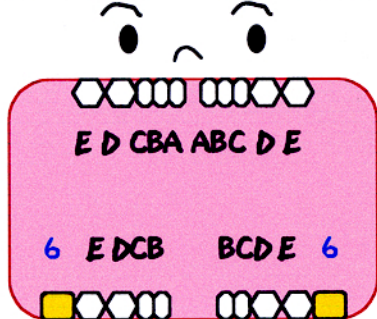
～永久歯偏～

身長成長に伴ってあごも成長し、6歳頃から12歳頃にかけては「乳歯」から「永久歯」へと生えかわっていきます。永久歯が生えそろうと、かむ力が強くなり、いろいろな食べ物を上手に食べられるようになります。

【生えかわり時期と順番】

※ 下の前歯（永久歯）は舌のほうから生えてきます。これから、歯が生えそろうことにより、歯が押し合ったり、舌が前に押ししたりする力で自然に前に向いていきますので心配する必要はありません。

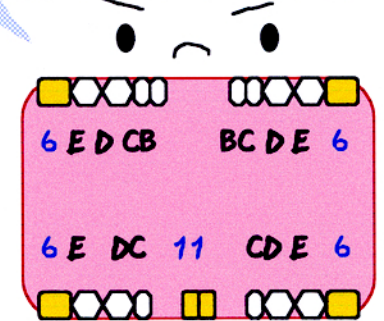
《6歳の口の中（±9ヶ月）》



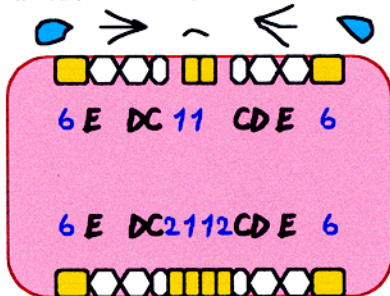
★6歳臼歯★

小学生に入学する頃から、乳歯が抜け始め永久歯が生えてきます。特に「6歳臼歯」と呼ばれる最初の永久歯は、物を噛み砕く力が一番大きく、永久歯の歯並びや噛み合わせの基本となる重要な歯です。しっかりケアしていきましょう。

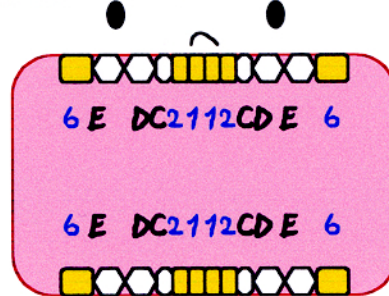
《7歳の口の中（±9ヶ月）》



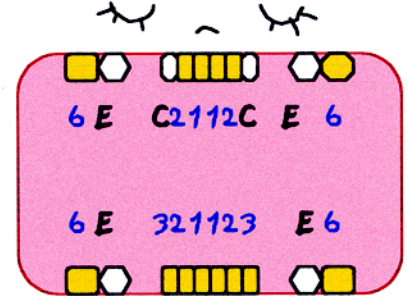
《8歳の口の中（±10ヶ月）》



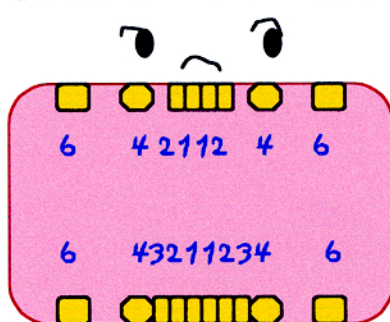
《9歳の口の中（±16ヶ月）》



《10歳の口の中（±16ヶ月）》



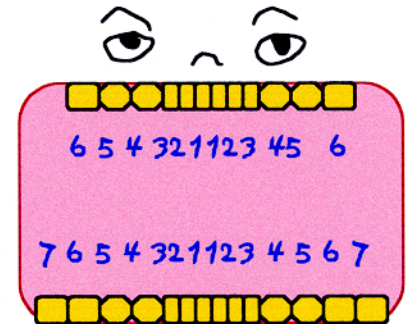
《11歳の口の中（±18ヶ月）》



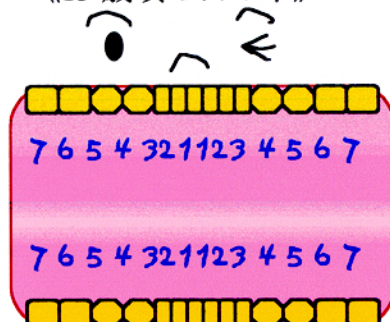
★歯科検診を受けましょう★

最後の乳歯がぬける時期です。生えたての永久歯は未成熟で虫歯になりやすく、この時期の正しいケアが、お子さんの一生の歯を左右します。ぜひ健診の上、適切な治療、歯みがき指導を受け、虫歯を予防する必要があります。

《12歳の口の中（±18ヶ月）》



《15歳頃の口の中》



歯の生える時期や順番は、個人差があります。ここに記されているのは、おおよその目安です。永久歯が生えそろうことにより、硬いものが奥歯で噛めるようになり、食生活にも大きく変化します。一生はえかわることのない大切な永久歯を虫歯から守るためには、家庭でのセルフケアと歯科医院でのプロフェッショナルケアの連携が必要です。

大崎歯科 <http://osaki-dental.jp/>